

専大スポーツ

No. 370

大会結果 予定は体育会ホームページ「専大ホームページ」から「専大スポーツ」から「専大スポーツ」を確認してください。専大スポーツ編集部 web (http://sensuppo.web.fc2.com/) 大会結果を配信いたします。

女子フルール

菊池 日本一

現役専大生25年ぶり

全日本フェンシング選手権(個人戦) 12月1〜4日、東京・駒沢体育館

最終日に行われた女子フルールで菊池小巻(商2・翔陽高)が初優勝し日本の頂点に立った。フェンシングで現役の専大生が日本一に輝いたのは、1991年、同種目の奈良布美子さん(現

都合により写真を掲載いたしません。
紙面をご覧ください。

「木下(平6商)以来、実を隠せないようだった。準決勝では、リオ五輪に出場した日本女子フルールを代表する西岡詩穂選手(NEXUS)と対戦。相手の攻撃を利用し、カウンターでポイントを連取。最後までリードを奪われることなく15-7で勝利した。」

「西岡さんに勝てたことは大きな自信になった」と話す菊池は決勝でも勢いそのままに実力を発揮。高校チャンピオンの東利央選手(和歌山北

「西岡さんに勝てたことは大きな自信になった」と話す菊池は決勝でも勢いそのままに実力を発揮。高校チャンピオンの東利央選手(和歌山北

「高」に大差をつけて勝利し、優勝を決めた。また、大会2日目に開催された男子サーブルの島村智博さん(平18経営)が4連覇を達成した。

「飛田翼・文2」

女子サーブル 団体4位

全日本フェンシング選手権(団体戦) 12月23〜25日、愛媛(商2・鹿児島南高)がチームを組み、女子サーブルに出場。

3位決定戦で地元・愛媛クラブに敗れたが、堂々とした戦いを見せ、4位と健闘した。

3位

フリー86kg級
松雪 桑山
グレコ59kg級

全日本レスリング選手権 12月21〜23日、東京・代々木第二体育館

フリースタイル86kg級で松雪泰成(商1・星城高)が、グレコローマンスタイル59kg級で桑山裕



低い体勢から相手の足を取る松雪



首を押さえ相手を制しにかかる桑山

下地・松雪 V

東日本学生レスリング秋季新人選手権 12月5、6日、東京・駒沢体育館

グレコ71kg級で下地恵永(経営2・浦添工高)、フリー86kg級で松雪泰成が優勝した。

「下地は決勝でひじを負傷。痛みを耐えながら戦い抜き、3-1で勝利をつかんだ。」

「新人戦では負けられない」と決意を胸に戦った松雪は、決勝戦でもわずか2分足らずでテクニカルフォール勝ち。風格をみせた。

7日に、同会場で行われた東日本学生選手権では、フリー86kg級で寺山修平(法4・秋田商高)が2位、同57kg級で柏田直紀(文3・三次高)が3位となった。

土屋 日本チーム初優勝

スピードスケートW杯・団体追い抜き

1万メートルでは日本新記録

アスタナ大会

12月2日から4日まで開催されたスピードスケートのワールドカップ(W杯)アスタナ大会(カザフスタン)で、土屋良輔(経営4・福徳高)が出場した男子団体追い抜きで日本チームが初優勝した。

日本男子は過去のW杯の追い抜きで優勝したことがなく、アスタナ大会では中村奨太選手(ロジネットジャパン)、ウィリアムソン選手(日本電産サンキョー)、土屋の3人で優勝を手にした。

「これまで小さなミスがあったり、動きがかみ合わなかったりしていたが、今大会は3人のバランスがうまく取れ、本来の実力を生かした。自分たちが日本人で初めて優勝できたことはうれしい」と喜んだ。

ヘーレンフェーン大会

土屋は、続くヘーレンフェーン大会(オランダ、12月9〜11日)では、1万メートルの滑りを見せ、13分12秒8をマーク。日本記録を5秒48更新した。

「今の調子なら1万メートルの新記録を出せるはずだ」と思っていたし、狙って

「1500メートルは最初から攻めのレースをする」とだけを考えていた。大会新記録を出せたことは素直にうれしい」と喜び、練習量を増やし、そのメニューをこなせるようになったことが好調の要因」と日々の努力が結果につながったと分析した。

池田が準優勝

全日本学生スピードスケート選手権(総合部門) 12月10、11日、群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

5000メートル、15000メートル、5000メートル、1万メートルの計4種目の総合順位を決める総合部門に専大から3選手が出場。池田崇将(経営4・白樺学

「1500メートルは最初から攻めのレースをする」とだけを考えていた。大会新記録を出せたことは素直にうれしい」と喜び、練習量を増やし、そのメニューをこなせるようになったことが好調の要因」と日々の努力が結果につながったと分析した。

槍ヶ岳登頂 山岳部冬山合宿

山岳部が恒例の冬山合宿(8000メートル)を登頂した。宿舎を行い、新春の北アルプス・槍ヶ岳(標高3100メートル)を登頂した。3、4年次生2人と2年次生2人の計4人は1



快晴の槍ヶ岳山頂で

月4日、岐阜県の新穂高温泉登山口を出発。踏み跡のない尾根のラッセルに苦勞しながら、7日に頂上アタック。凍りついた足場を慎重に進み、無事、登頂に成功した。快晴に恵まれ、部員たちは真冬の絶景に目を奪われていた。

合宿に先立ち、北八ヶ岳での雪上訓練合宿(12月25〜31日)では、1〜4年次生7人がヒバーク時の対応や滑落に備える練習などを行った。